

# 退職 互助だより

第158号

平成28.4.20

発行

一般財団法人 島根県教職員互助会  
〒690-8502 松江市殿町1番地  
島根県教育庁福利課内  
TEL (0852) 22-6067



## 『ゴッホ=キット「ゴッホの部屋」Ver.3』 青木世一 作

2002(平成14)年 島根県立美術館蔵

＜4月14日(木)～8月8日(月)まで島根県立美術展コレクション展示室5にて展示＞

### 目 次

○平成28年度退職互助医療事業一覧……………	2	○地区会だより 退職互助大原地区会	
○理事長の異動……………	2	◇一日一生……………	5
○表紙作品解説……………	2	◇随想 「天神様を飾って」……………	6
○医療補助金等の送金スケジュールについて……………	3	◇地区会活動……………	6
○送金通知書は大切に保管してください！……………	3	○健康	
○平成28年度退職者ライフプラン助成事業の 実施について……………	3	◇認知症の予防について思うこと……………	7
○平成28年度人間ドック補助事業の実施について……………	4	○事務局だより……………	8
○縁結びプロジェクト……………	4	○お悔やみ……………	8
		○あとがき……………	8

## ❖平成28年度 退職互助医療事業一覧❖

事業名	事業内容	備考
給付事業	医療補助金 病气やけがにより療養を受けたとき、医療機関や薬局での総医療費（健康保険適用分）の3割相当額（自己負担した額）を満70歳の誕生日の属する月（月の1日生まれの人は、満70歳の誕生日の属する月の前月）の末日までの診療分に対して給付します。 ただし、公費等で7割を超える給付を受けるときは、その超えた額を控除した額を給付します。 （例：高額療養費が支給された場合は、自己負担の額から高額療養費を控除した額を医療補助金として支給されます。）	請求
	入院見舞金 一の医療機関に引き続き3日以上入院（健康保険適用分）したとき、又は、医療機関以外で10日以上常時看護又は介護を要する在宅療養をすることとなったときに、満70歳の誕生日の前日までの入院在宅療養に対して給付します。給付額は、次の区分による額となります。 ①入院した場合は、当該年度中に60日を限度として、一日当たり1,500円を支給します。 ②在宅療養の場合は、当該年度中に60日を限度として、一日当たり800円を支給します。 ※支給限度日数は、①②を合わせて当該年度中に60日です。	請求
	長寿祝金 満70歳に達したとき7万円を支給します。	自動給付
	弔慰金 69才以下で死亡したときは、会員期間に応じて遺族に支給します。 受取人となる遺族の順位：①配偶者、②子、③父母、④孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹 ・1年未満 55万円 ・3年以上4年未満 25万円 ・1年以上2年未満 45万円 ・4年以上5年未満 15万円 ・2年以上3年未満 35万円 ・5年以上70歳未満 10万円	請求
厚生事業	福利増進事業 地区会活動費を助成 1人あたり 2,500円 1地区会 10万円 活動参加状況による定額加算があります。 〈地区会活動内容〉 地区会総会（会務報告・意見交換・情報交換）、地区会事業（退職会員福利増進事業等）の実施 地区会活動に参加できない県外在住会員には別途事業を実施します。	各地区会単位で事業を実施
	教育会館宿泊利用助成事業 島根県教育会館に宿泊したとき1泊2,000円を助成します。 （回数制限なし）	宿泊利用時のチェックインで会員資格を確認
	退職互助だよりの発行 年間4回発行（4・7・10・1月）、退職会員及び各所属所に配布します。	
	人間ドック補助事業 人間ドックを受診したときに助成します。…P4参照 1人15,000円 定員 教互280人、県互40人	請求
	退職者ライフプラン助成事業 ライフプランに関する活動を実施したときに助成します。（複数の活動も可）…P3参照 年間3,000円限度	請求 （1人1回）

### ◎理事長の異動◎

3月21日付けで互助会の理事長が辞任し、22日付けで後任の理事長が選任されました。

新任		旧任
役職名	役職・氏名	氏名
島根県教育委員会教育長	理事長 鴨木 朗	藤原 孝行

### 表紙掲載作品解説

この写真右側のベッドのある部屋の様子、どこかでご覧になったことがあるのではないのでしょうか。これは、フィンセント・ファン・ゴッホの著名な絵画《ゴッホの部屋》（1889年、オルセー美術館蔵）を立体化したものです。

この作品を制作した青木世一（1954年～）は、ベニヤ板を素材に、名画をプラモデルキットとして立体化する「AOKIT（アokit）」シリーズを展開しています。見ると、ゴッホの部屋の周りには、「GOGH-KIT（ゴッホキット）」と書かれた箱や、パーツがくり抜かれた後の板が配され、あたかもプラモデル完成間際のような雰囲気です。実際には部屋の中に人が居んで入ることができるほどの大きさがあり、実寸1/2スケールで再現されています。

青木はこのほかにもセザンヌや光琳など、誰もが教科書で見たことのある名画を立体にしています。安価で広く流通する素材であるベニヤ板を用い、また、万人が気軽に楽しめるプラモデルのスタイルで提示することによって、権威や価値、希少性といった「名画」の属性を大衆性・複数性などの要素に変換しており、そこに青木独特のユーモアが生まれています。分解すれば平らな板に戻るだけでなく、プラモデルと同じようにすべてが箱の中にきちんと収まるしかけで、細部まで遊び心いっぱいの作品です。

上野小麻里（島根県立美術館 専門学芸員）

# 医療補助金等の送金スケジュールについて

5月、6月、7月の請求書提出の締切日・送金日は次のとおりです。

締切日 毎月20日17:15まで (土・日・祝日の場合は前日)	送金日 毎月26日(土・日・祝日の場合は翌日)
平成28年5月20日(金)	平成28年6月27日(月)
平成28年6月20日(月)	平成28年7月26日(火)
平成28年7月20日(水)	平成28年8月26日(金)

<注 意>

締切日は、会員の居住地域を担当する支局及び事務局への到着日です。

請求書の提出先が各支局となっている方が、事務局へ提出されても構いません。その場合は、事務局から担当の支局へ転送し、支局への到着日が書類受理日となります。

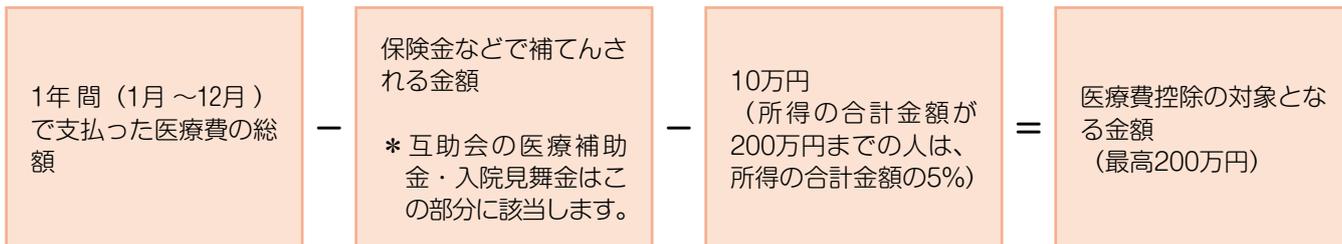
## 送金通知書は大切に保管してください！

互助会では、医療補助金等を送金する際には、送金通知書を送付しております。

この送金通知書は、確定申告時において、医療費控除を受ける場合の保険金などで補てんされる金額を把握する際に必要となりますので、大切に保管してください。

なお、紛失された場合は、再発行をしますので、事務局または支局までご連絡ください。

### <医療費控除の対象となる金額の計算式>



## 平成28年度 退職者ライフプラン助成事業の実施について

この事業は、退職会員及び退職互助医療に加入している配偶者が、退職後のライフプランの3つの柱である「健康」、「生きがい」、「経済」に関する活動を行った場合、年度1回に限り、3千円を上限に助成を行う事業です。対象となる活動例は、「退職互助だより第158号」に添付している「**退職者ライフプラン助成金支給申請書**」の裏面の実施要綱をご覧ください。

ただし、次に掲げる場合は、助成対象になりませんのでご注意ください。

- ① 互助会又は鳥根県教職員退職互助各地区会(以下「地区会」という。)の他の助成金・給付金を受けて実施する場合  
例) 医療補助金、入院見舞金、人間ドック補助金、教育会館宿泊利用助成金
- ② 互助会又は地区会が実施する事業又は補助を行う事業に参加する場合  
例) 総会、厚生旅行、趣味の会、文化講演会等
- ③ 各種健康保険を利用した医療機関での受診料等
- ④ 飲食費、物品購入費(書籍購入費、テキスト代、教材費用等)、寄付金、献金、募金、ギャンブル、その他この事業の趣旨にそぐわない場合
- ⑤ 旅費や交通費(ライフプラン助成対象活動を目的とすることが明確なツアー参加料金を除く)  
・ 助成金の支給を希望するときは、活動実施後に「退職者ライフプラン助成金支給申請書」に領収書等の証拠書類を添えて申請してください。  
(金額が明示されていないチケット半券等の場合は、必ず料金のわかるチラシ等を添付してください。)

- ・ 助成金は退職互助医療給付金口座に送金します。
- ・ この事業の実施期間は、4月1日から来年3月31日までの間です。
- ・ 申請書の提出期限は、平成29年4月7日(必着)です。

☎ (0852) 22-6067 退職互助厚生事業担当 森井・秋山

# 平成28年度人間ドック補助事業の実施について

今年度も、疾病の予防と早期発見、早期治療による退職会員の健康の保持、増進のため、引き続き人間ドック補助事業を実施します。



## 1 ドックの種類

一日外来ドック・宿泊人間ドック・脳ドック

## 2 補助金の額

**1人15,000円**（ただし、市町村や健保組合等からの公的補助を受けて受診した場合は、15,000円から他からの補助額を控除した額になります。）

※例えば、市町村国民健康保険の人間ドック事業、後期高齢者人間ドック事業、協会けんぽの人間ドック事業により受診した場合は、補助額の調整の対象となりますのでご注意ください。

【調整例】 15,000円 - 11,000円 = 4,000円  
 （互助会助成額の上限） （国保会計からの助成） （助成額）

※退職互助各地区会が実施する人間ドック補助金の受給者は、補助対象とはなりません。

## 3 募集定員

**教互会員 280人、県互会員 40人**

## 4 申込方法等

- ①「退職互助だより第158号」に併せて配布している「人間ドック補助金申込書」を互助会事務局へ提出してください。FAXによる申込みも可です。（FAX 0852-27-2622）
- ②申込者が募集定員を上回った場合は、年齢、過去の補助金受給状況などを勘案し、又は抽選により決定して通知します。
- ③受診する医療機関の選択、受診日時の調整等は各自で直接行ってください。  
 ※申込時点で医療機関への予約をされていない方や4月1日以降既に受診した方も申し込みます。

### 申込の流れ



## 5 申込期限

**平成28年5月20日（金）**

## 6 補助金の給付

- ①受診後2ヶ月以内に補助金申請書(補助対象決定通知に合わせて送付します。)に領収書を添え、事務局へ提出してください。**支局では受け付けていません。**
- ②補助金申請書を受理、審査した後に互助医療補助金送金先口座へ補助金を送金します。

☎ (0852) 22-6067 退職互助厚生事業担当 森井・秋山

### 「退職会員の皆様にお願いです。」

教職員互助会では、現職会員の皆様に出会いの場を提供する『第7回縁結びプロジェクト。』を8月に開催します。退職会員のご子息様又はお孫様、あるいは親戚の方で独身の現職互助会員の方がいらっしゃいましたら、是非ご参加をお勧めいたしますようお願いいたします。

※このイベントの詳細は、「島根県教職員互助会」ホームページで5月下旬よりお知らせします。

最近の「結婚」に向けての傾向としては、待っていれば結婚が自然にできる人は少数派で、結婚するために「活動」をする人が普通といわれています。しなを思い、次世代の幸福のためにその背中を押してあげようではありませんか。

また、多忙な教育職員の皆様は、イベント参加を躊躇する傾向にあります。周りの誰かが「背中を押す」、周りの誰かが「おせっかい」を焼く。退職会員の皆様の出番です。一肌脱いでいただきますようお願いいたします。

◎日時 平成28年8月6日（土）12時30分～16時30分（受付 12時00分から）

◎開催場所 サンラポーむらくも（松江市殿町369番地）

●参加団体 島根県教職員互助会・島根県職員互助会・島根県警察職員互助会・島根県市町村職員互助会（合同開催）

●独身の現職互助会員のみ参加資格があります。

（問い合わせ先 ☎ (0852) 22-6068 担当 泉）



# 一日一生

退職互助大原地区会 会長 坪内 邦至

昨年大原地区会の会長になり一年が経過した。研修旅行等恒例の行事の実施に事務局長を中心として役員の方々とともに汗を掻いている。

平成二十五年三月、松江テルサで行われた「富士通囲碁まつり」の抽選会において、あるうことか私は一等当選の榮譽に輝いた。その際、対局のために来松された日本棋院の憧れのプロ棋士山城宏九段からご本人揮毫の色紙をTV撮影中の満座の中壇上において直接手渡ししていただいた。それが標記の言葉、つまりこの箴言である。



山城九段の揮毫

「一日一生」とは「一日を一生のように生きよ明日はまた新しい人生が始まる」或いは「一日は貴い一生である。これを空費してはならない」という意味のようである。高名な学者等によりいろいろと深い意味の解釈がなされている。私はこの素晴らしい言葉を座右の銘として未来を歩んで行くことと深く心に刻んだ次第である。

## 一、手談を楽しむ

私にはいくつもの趣味がある。その

一つが囲碁である。紀元前、中国で生まれ仏教の伝来とともに日本に伝わった高尚なゲームである。「仙人もたしなみ、時に憂さを忘れさせ、言葉なしで人と通じ合い斧の柄が腐るものにも気づかぬほど人を夢中にさせる……」これが囲碁の持つ魅力である。別名「手談」とも言われ盤を挟んで相手と一手打つごとに無言の対話を交わしている。盤の上に置く一手一手にその人の内面、人柄、感情が如実に現れる。そのため碁盤は人の心を照らす鏡であるとも言われる。こうした打交を重ねるうちにお互いの人となりがよくわかるようになり、一局打つごとに双方が親しくなっていく。私にはこのようにして知己を得た人がたくさんいる。

地区の皆さんとの交流は地元交流センターを会場（囲碁サロン）に毎週水曜日を定例日として対局を行っている。（大会は春秋各一回）会員は殆どが中高年の男性である。この中には地元の小学校の求めに応じて特別活動の時間に児童たちを指導している人もいます。碁は近年教育の現場においても注目を集めている。その皮切りとなったのは、十一年前、東京大学教養学部で単位の取れる授業として「囲碁」が導入されたことである。現在は小学校から大学に至るまで国公立私立を問わず

ず人気科目、講座として定着し始めている。なぜ碁が学校教育で取り上げられるようになったのか―碁の効用である（考える力を養う）（バランス感覚を養う）（忍耐をつける）（集中力を高める）（礼儀が身につく）などに着目されたからであろう。全国の小学生の中には将来のプロ棋士を目指している児童もいる。当地の小学生はそこまでには至っていないが、今後も研鑽を重ねれば棋力が向上しいずれ指導者を追いついて行く日が来るであろうと期待している。

## 二、「尼子十旗」巡り

中世の一時期中国地方の覇者であった尼子氏の歴史を研究する同好者の集いがある。私はその会に所属している。男性二十二名、女性十三名、計三十五名の中高年のグループである。尼子十旗とは、当時出雲国を支配した戦国大名尼子氏の本城月山富田城の外壁を成し、防衛の要となった出雲国内の主要な十の支城のことであり、主な家臣団が居を構えていた。雲陽軍実記によれば「惣じて尼子旗下にて祿の順に①白鹿城②三沢城③三刀屋城④瀬戸山城（赤穴城）⑤三笠城（牛尾城）⑥高瀬城⑦神西城⑧熊野城⑨夕景城（馬木城）⑩高麻城（大西城）」となっている。これを尼子十旗という。私たち三十五名は三班に分かれ二年間にわたり調査、研究を行ってきた。班毎に何回となく山城に登り、その城趾の往時を偲んだ。

天下の堅城である月山富田城を本拠

に山陰、山陽にまたがり一大勢力を築いた尼子氏は、毛利氏、大内氏と覇権を争ったにもかかわらず、一般にはあまり知られていないようである。参考となる歴史書がそれほど多くないせいかもしれない。十旗の中でも行政と地元有志の協力により整備され、観光地として活用されている



月山富田城

る城趾がある一方、殆んど整備もされず、草木に埋まっているままの城趾もある。そうした所へ私たちは何回となくボランティア活動として地元有志の皆さんと共に伐採作業等に汗を流してきた。そのような経過を踏まえ、多くのことを学びながら私たちは研究成果として冊子『尼子氏と尼子十旗』（A四版八十六頁）を完成することができた。私たちにとっては二年間の苦労の末に得た結晶である。そしてそれは無上の喜びである。



研究の成果

## 天神様を飾って

退職互助大原地区会

副会長 舟木 武幸

二月下旬のある日、今年も息子と孫（二歳）の天神様を並べて飾った。数日後、昨年誕生した孫娘のお雛様が届き、一緒に飾った。

平素は床の間に置き物があるぐらいの部屋が華やかになった。

二歳の孫は、すぐ手を出そうとするが息子が、

「触るもんじゃないよ。見るだけだよ。こっちが壽ちゃんのもの、こっちは父さんの。いっちゃんのお雛様だよ。」

と言って教えていた。その後、私達が見ていると、

「さわらんで。」

と言いながら一緒に見ている。

二体の天神様を見比べると、時代の違いが感じられる。顔立ちは同じだが肌色が全く違っている。一方はやや赤みがかり、男性としての強さと勢いを感じさせる。他方は、色白で優しさを感じさせてくれる。どちらも、さりつとした理知的な表情の中に、強さと優しさがある。

宍道町上来待には菅原道真公の生誕の地と伝えられる菅原地区があり、菅原天満宮・梅の木神社がある。平素は静かな地区であるが受験シーズンが近づくと、受験生らしき人、その親様と見受けられる方々が多数お参りされる。

科学万能の時代と思われる現代に、神様に自らの大願成就を祈る姿に接し、清々しさを感じる。どうか皆様、良い結果を得られますように、と祈る。

現代は、電子機器の発達で、とても便利な世の中になっている。計算するにも筆算するより計算器を使い、言葉や漢字を調べるとも広辞苑を引くことはなく、電子辞書で一発である。しかし、自分にとって良いことはかりではない。漢字が思い出せない。計算に手間取る。暗算ができにくい等々。全く困ってしまう。

最近書く事は日記ぐらいである。しかも数行で終わるし、数日飛ぶこともある。こんな自分が孫と並んで天神様を拜している。しかも「天神様はね、とても賢くてね、頑張りやさんだったんだと。勉強を一生懸命されて、右大臣という立派なお仕事をされたんだって。」と話しているのである。天神様に学ぶべき者は、孫ではなく、自身自身であることに気付いた私は、その先が、どうしても言えなかった。



健やかな成長を願って!!

## 地区会活動

退職互助大原地区会 事務局長 山本 正巳

新入会員七名を迎え、総会員数二百九十八名で、二十七年度の各事業を後記により実施しました。主な事業は次のとおりです。

- 一 理事・監事会（五・二月）
- 1 事業計画・会計予算等
- 2 事業報告・会計決算等（会則により審議議決）
- 二 事務局会（八回）
- 各事業の企画審議等
- 三 会員の集い、研修
- 1 総会・懇親会（七月）
- 2 一日（一泊）厚生旅行（隔年交互に開催）
- 3 半日研修

### ○総会・懇親会（七月四日）

・毎年六月末か七月当初に開催しています。

・前年度事業・会計報告、本年度の事業計画・予算案（事前に理事会で審議、議決）を総会です承。（出席者六十名）

「かもてらす」での総会終了後、懇親会。総会にご臨席いただいた県教職員互助会事務局長内田明徳様、出雲支局長佐貫瑞枝様、四十六名の会員ともども、和気あいあい歓談のひと時を過ごしました。

### ○一日厚生旅行（十月十六日）

松江自動車道の全面開通で、日帰り旅行もかなり遠方まで可能になりました。当年度はしまなみ海道方



小島の28センチ榴弾砲（レプリカ）

面で、観潮船から来島海峡の巨大な渦を眺める計画を立てました。天候に恵まれ、また大潮の時間とも重なり、荒々しい潮流は七ノット（時速約十三キロ）。直径十メートル以上にもなる渦や湧き潮を、あちらこちらで見ることができました。

観潮を終えて、周囲およそ三キロメートルの小島（芸予要塞跡）を見学しました。

### ○半日研修（十一月十三日）

出雲市に県内最大規模の太陽光発電施設が完成したとの記事を見て以前から計画に入れていたメガソーラー研修を、出雲市の施設より大きい米子市の「とっとり自然環境館」で行いました。広大な太陽光発電施設に驚きました。



## 認知症の予防について思うこと

医療法人釜瀬クリニック理事長 釜瀬 春 隆

物忘れが年のせい、認知症の始まりか、加齢を意識する年代には気になることです。確かに脳の老化で知的な働きは衰えます。しかし年のせいだけで認知症にはなりません。認知症は脳の老化に、脳の病的変化が加わって生じるものです。物忘れに加え、理解力や判断力（認知機能）が年齢相応でなくなることも大事なポイントです。物忘れがひどくなり、日常生活に支障をきたすようになると、“認知症”と診断することになります。認知症を起こす主な病気としては、アルツハイマー病が約7割を占め、レビー小体病、脳血管性認知症、ピック病等が続きます。

軽度認知障害（MCI）という言葉がしばしばとり上げられます。認知症とは言えないが、正常老化とも言えない段階のことです。物忘れや理解力は低下しているが、日常生活は普通にできる状態です。MCIの有症率は概ね5～7%とされています。大部分の認知症の方は、MCIを経て認知症に至るものですが、認知症に至らない方もあって、ここが認知症予防の目のつけどころになっています。MCIとは、①日頃から物忘れがひどいという自覚あり。②物忘れが年齢相応ではない。③その他には知的な障害が目立たない。④日常生活は普通に送れる。MCI（認知症の準備状態）を早く見つけて何らかの手だてをすること（早期発見と早期治療）が認知症予防の第一歩と言えます。

一般的に疾病の予防には、発症予防と進行予防の二つがあります。現段階で認知症に確実な発症予防法はありません。しかし、中年期からの生活習慣病（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の治療や生活習慣の見直しが予防に役立つことは判ってきました。糖尿病のコントロールを筆頭に高血圧、脂質異常の管理は重要。各々のコン

ロール不良群では有病率が2～3倍との報告があります。食生活では、肉食より魚を多く食べる人で少ない、新鮮な野菜や果物を多く摂る人で少ない。赤ワイン、緑茶、人参、トマト、大豆は予防に良いとよくTVに登場しますが、有効性は定かでない。お酒は1合程度までなら良いが、飲み過ぎは認知症を増やす。タバコは危険因子であり止めるべき等々です。

一方で高齢者の生活調査から、運動（有酸素運動）をしていたかどうか明らかに影響すると言われます。また身体と頭を使った運動で記憶力が改善するという研究から、全国各地で運動による認知症予防の取り組みが行われています。基本はウォーキングで、計算しながらウォーキングする、二つのことを同時にする（デュアルタスク）等、脳に軽い負荷をかけることが有効なようです（表を参照）。

総じて認知症予防には、バランスの良い食事、運動習慣（有酸素運動）、禁煙、良い睡眠、積極的な社会参加、活動的な生活等、ごく常識的な良いライフスタイルを中年期から心がけることが大切です。わが国では現在4種類の認知症の治療薬があり、医師の判断で進行を遅らせることを目的で処方されています。

精神科の診療所を開業して20年以上になります。多くの認知症の方と出会いました。1/3の方は他医療機関で検査を受け、診断を受けた方です。認知症の進行予防のための生活指導と抗認知症薬の処方、在宅継続の支援が目的となります。残りの2/3の方は、物忘れのため初めて受診された方です。物忘れの自覚がないまま連れてこられ、自尊心を傷つけられ、不機嫌な様子で診察室に入られる方、自分でも気になっていたのに素直に入られる方、同伴の息子に“家においてくれるか？”とポツリと言われた方等、様々な出会いがありました。

それにしても認知症に関する昨今話題は、認知症を否定的な視点でばかり取り上げたものが目立ちます。困った問題、悲惨な病、介護が大変な労苦等々。そこには認知症の人のつらさを思いやる視点がありません。認知症の予防は大事ですが、確実な予防方法が見つからないことも事実です。誰でも認知症になる可能性があります。

“なったらどうしよう”から“なっても大丈夫”という視点に考え方を变えるべき時期が来ているのではないのでしょうか。

通院中の90歳の男性の方の診察が楽しみです。診察室に入る際、いつも、“ボクは幸せもんですわー”と笑って言われます。同伴の娘さんも嬉しそうです。診察をしている私もホッとします。

### 認知症予防に有望と考えられるもの

- ・ 2型糖尿病のコントロール
- ・ 高血圧と脂質異常症の改善
- ・ 望ましい体重の維持
- ・ 社会交流と知的な活動
- ・ 運動の習慣
- ・ 果実と野菜の多い健康的な食生活
- ・ 禁煙
- ・ うつ病の治療

(<http://newssinhealth.nin.gov/issue/Jul2010/Feature1>)

# 事務局だより

## 地区会総会への積極的な参加を

五月から七月にかけて県内退職互助各地区会で総会が開催されます

新規加入会員の皆様を含め、退職会員が一堂に会し、親交を深めながら各地区会の事業運営について直接協議するとともに、事務局からも情報提供を行う貴重な場でもありますので、できるだけ多くの会員が出席されるようご案内します。

総会の開催案内は、それぞれの地区会から別途通知がありますので、ご留意ください。

## 互助会事務局人事異動

年度末の定期人事異動等により事務局職員の異動がありました。

### 新任(四月一日付け) ( )内は旧任等

- 出雲支局支局長 糸賀 和雄(出雲教育事務所から)
- 出雲支局書記 渡利 誠(県立大学から)
- 浜田支局支局長 鳥居 正嗣(浜田教育事務所から)
- 浜田支局書記 猪俣ゆきこ(地域福祉課から)
- 益田支局支局長 村上 護(益田教育事務所から)
- 益田支局書記 下森多美子(西部高等技術校から)
- 隠岐支局支局長 有木 健二  
(隠岐の島町立西ノ島中学校から)

### 退任(三月三十一日付け) ( )内は新任等

- 事務局主事 森井 大輔(新規採用)
- 出雲支局支局長 松本 泰治(出雲市立北陽小学校へ)
- 出雲支局書記 小林 賢司(大社高等学校へ)
- 浜田支局支局長 杉野本智幸(浜田市立石見小学校へ)
- 浜田支局書記 藤田 裕由(益田県立整備事務所へ)
- 益田支局支局長 領家 芳明(益田市立吉田小学校へ)
- 益田支局書記 島田 満(浜田県立整備事務所へ)
- 隠岐支局支局長 谷口 彰(隠岐の島町立北小学校へ)

## 謹んでご冥福をお祈りいたします

山口 德三 様 (江津市) 26.12.23 (89歳)	植田 歌司 様 (浜田市) 27.12.30 (85歳)	堀口 和枝 様 (浜田市) 28.2.11 (87歳)
齊藤 雅信 様 (出雲市) 27.1.5 (75歳)	入江 清泰 様 (松江市) 28.1.1 (84歳)	河村 熙 様 (出雲市) 28.2.12 (89歳)
大畑 英二 様 (益田市) 27.1.23 (79歳)	横木 良 様 (出雲市) 28.1.8 (92歳)	松浦 信 様 (大田市) 28.2.13 (92歳)
寺戸 昌 様 (横須賀市) 27.2.19 (93歳)	塚田 昭輔 様 (大田市) 28.1.9 (86歳)	石川 堅 様 (益田市) 28.2.13 (90歳)
江角 隆吉 様 (出雲市) 27.4.13 (97歳)	太田 千里 様 (出雲市) 28.1.9 (82歳)	坪 康朗 様 (邑南町) 28.2.14 (88歳)
中島 憲行 様 (出雲市) 27.5.31 (69歳)	岩田 慧 様 (松江市) 28.1.11 (89歳)	藤波 稔 様 (松江市) 28.2.14 (84歳)
立花 貢 様 (出雲市) 27.6.8 (84歳)	加藤 和子 様 (雲南市) 28.1.15 (83歳)	川瀬 信夫 様 (大田市) 28.2.14 (83歳)
工村 正行 様 (江津市) 27.8.15 (89歳)	野津 有湖 様 (松江市) 28.1.15 (80歳)	田中 幸子 様 (益田市) 28.2.14 (79歳)
青砥 良行 様 (奥出雲町) 27.8.16 (91歳)	原田登紀子 様 (松江市) 28.1.16 (84歳)	山田 勲 様 (雲南市) 28.2.21 (87歳)
西尾 昭朗 様 (松江市) 27.9.10 (86歳)	寺本恵美子 様 (浜田市) 28.1.20 (88歳)	児山 益子 様 (出雲市) 28.2.22 (61歳)
後藤 初枝 様 (松江市) 27.9.15 (84歳)	三好和香枝 様 (邑南町) 28.1.25 (87歳)	原 陽堅 様 (松江市) 28.2.23 (78歳)
多賀 三雄 様 (雲南市) 27.11.1 (65歳)	嘉本 恵吉 様 (雲南市) 28.1.25 (87歳)	土崎 邑 様 (江津市) 28.2.25 (87歳)
室田 澄江 様 (大田市) 27.11.4 (80歳)	山科 孝之 様 (松江市) 28.1.27 (94歳)	渡邊 弘行 様 (江津市) 28.2.29 (89歳)
熱田 早苗 様 (益田市) 27.11.8 (66歳)	釜谷 一郎 様 (松江市) 28.1.30 (90歳)	岩崎 吉秋 様 (浜田市) 28.3.6 (95歳)
藤田 良 様 (西ノ島町) 27.11.26 (83歳)	井原 文次 様 (松江市) 28.1.31 (94歳)	伊藤 英一 様 (松江市) 28.3.11 (82歳)
大野 忠春 様 (出雲市) 27.12.6 (89歳)	片山 和子 様 (出雲市) 28.1.31 (91歳)	山縣千鶴子 様 (益田市) 28.3.16 (94歳)
森山 武昭 様 (益田市) 27.12.13 (86歳)	周藤 泰子 様 (松江市) 28.1.31 (88歳)	立花久美子 様 (出雲市) 28.3.18 (82歳)
長岡 一重 様 (出雲市) 27.12.26 (89歳)	和田 金重 様 (津和野町) 28.2.6 (93歳)	西尾 緑 様 (出雲市) 28.3.24 (87歳)
細木 隆志 様 (出雲市) 27.12.27 (80歳)	平野 秋雄 様 (出雲市) 28.2.7 (89歳)	鞍口 昭二 様 (松江市) 28.3.25 (88歳)
鉦 千恵子 様 (松江市) 27.12.29 (83歳)	岡田 昌博 様 (江津市) 28.2.9 (86歳)	黒崎 行雄 様 (松江市) 28.3.28 (76歳)
山田 清 様 (邑南町) 27.12.29 (81歳)	高橋みどり 様 (松江市) 28.2.9 (85歳)	

## あ と が き



この四月、新しい会員の方々をお迎えしました。希望を胸に抱き、共々に過ごしたいと思えます。希望の「希」の上半分は「透かし織りにされた布」を表しているからです。布を透かせば、明るい希望の明日が、そしてこれからの人生も見えるような気がします。

表紙に紹介した作品は、「ゴッホの絵が立体化されたものです。普通の絵画が思いつかない着想の技術で別の顔を見せてくれています。県立美術館のコレクション展示は、お盆過ぎまで開かれています。訪れてみるのも、よいのではないかと思います。

大原地区会から、地区の活動や写真を含めた心あたたまるエッセイなどをいただきました。皆様が生き生きと暮らしておられる様子がうかがえます。

健康のページは、認知症の予防です。人は誰でも老いていきますが、長い人生を心身共に健康で過ごすための細かい配慮を教えてくださいました。ちょっとしたことで、安心への一歩が確かなものになります。

事務局からは、ライフプラン、医療、縁結び、人間ドック事業など、きめ細かいお知らせがあります。保存していただき、ご活用されるようお願いいたします。

(古浦)